

恵庭リサーチ・ビジネスパーク（株）の今後のあり方について

恵庭リサーチ・ビジネスパーク株式会社（以下「RBP」）は、設立当初からの社会情勢の変化などにより、リサーチコア事業はもとより請負業務の終了や縮小、内部経費の増加など、今後、経営改善が必要な状況となっております。

このことから、RBPでは今後の経営改善方法について検討しているとともに、市としてもRBPの今後のあり方について検討しています。

1. 現状、及び今後想定される課題

1) 設立当初の事業目的からの変化

産業育成支援や研究開発施設（リサーチコア）から、現在は起業支援や貸事務室、公共施設管理などが中心。

2) 事業の見直しや経費削減などの経営改善

請負業務の縮小や社員の年齢構成に伴う人件費の高止まり、建物改修など。

3) 安定した株主構成（株主の整理）

コーポレートガバナンス・コード（上場企業が行う企業統治における原則・指針）の関係から、政策的に出資され配当を行っていない株の保有が見直される風潮にある。

4) 市受託事業の減少

新型コロナウイルス関連事業の終了や情報処理業務の縮小、市民会館改修による指定管理業務の縮小など。

2. 経営改善の検討状況

RBPは、経営コンサルタントに経営診断を依頼し、その結果をもとに、減資及び自己株式を取得する方針として取りまとめている。

3. 今後の方向性

○RBPとしては、減資及び自己株式の取得について定時株主総会（令和6年6月28日）で提案・決定した上で株主整理を行い、現行の行政支援業務を継続しながら会社を存続する。

○市としては、これまで行政支援業務や公共施設管理業務の受託、起業家支援業務など公共的役割を担ってきたことから、引き続き株式を保有し、今後、次期（第6期）恵庭市総合計画におけるRBPの位置づけについて検討する。